



# エピローグ「江戸時代を今にうつす」

Epilogue: "Integrating the Edo Period into Present Day"

今の私たちの生活から、試しに電気と石油の恩恵を受けているものを差し引いたらどうなるでしょう。夜の照明は？ 移動の手段は？ 家事は？

江戸時代の人たちは、電気も石油も使わず、植物を中心としたエコ社会でした。人間の排せつ物はすぐに引き取られて肥料になり、物を燃やした灰は陶器の釉薬に、衣類や食器もリサイクルにリサイクルを重ね、限りある資源を自然な形で循環させていました。

それが、幕末・明治に来日した外国人が素直な目を見た日本の姿でした。明治の近代化以降、私たちは何を手放し、何を受け継いできたのでしょうか？ グローバリズムの中で自らのありようを見極めようとする時、自立していた江戸時代のありようや考え方を思い出すことが、とても大切になっていると思います。うつせば変わる。変われば始まる。

People in the Edo period(1603~1868) lived in an eco-friendly society based on plants that didn't use electricity or oil. Human excrement was converted into fertilizer, and other limited resources were recycled in natural ways.

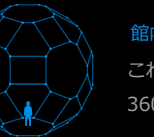
That was the Japan that foreigners clearly saw when they visited at the last days of the Edo and Meiji periods. What did we leave behind and what did we pass down since the Meiji Modernization? When we consider how we should live in the world of globalism, it becomes important to remember the way of life and thinking of these independent, self-sufficient people that lived during the Edo period. "utsusu" means change. And change means new beginning.



館内企画展アーカイブ

# バーチャル展示室

THE VIRTUAL  
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <http://www.tcm.it.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



**トヨタ産業技術記念館**

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.